

自動車産業の 流通革命を目指す



多摩の企業人
『私の決断』
Vol.78

株式会社ビジョナリング

代表取締役社長

鷺尾 潤二氏

1978年神奈川県横浜市生まれ。中学時代からボクシングに打ち込むも網膜のケガで断念。高校を中退し国産車販売店を経て輸入車販売店に入社。2004年ハンユウ株式会社を設立し輸入車正規ディーラー事業開始。11年ビジョナリング設立。他にビジョナトレーディング株式会社、株式会社HRリンク（人材紹介業）、株式会社ウエストオートサービス（板金業）を経営。22年、5社を統括するビジョナグループを設立し代表兼CEOに就任。趣味は読書、プラモデル。
小平市大沼町3-13-9 TEL: 042-348-7007
<https://www.visionagroup.jp/>

電

動化、自動化の波にさらされ、自動車業界は今、大変革期を迎えている。こうした中、「自動車産業に流通革命を起こす」と壮大なビジョンを掲げる経営者がいる。「ベストベンチャー100」に12年連続で選出されたビジョナリングの鷺尾潤二社長だ。

「お客さまが本当に求めている車を最も把握しているのは、お客さまと直にコミュニケーションを取っている小売企業の私たちです。私たちがもつと力をつけて発言力を持つれば、価格等でお客さま視点の車が開発されるようになり、自動車業界全体の活性化につながると信じています」と鷺尾社長は力強く語る。

人間力重視のセールスで躍進

高校を中退し、派遣で工場勤めをしたものの、将来の希望を見い出せず、公共職業安定所で日産自動車のセールスの仕事を見つけた。応募条件が大卒以上だったが、直談判で面接にこぎつけ、「必ず売ります。石にかじりついてでも売ります」と訴えて採用される。最初は全く売れなかったが、営業成績の高い先輩に同行させてもらったり、関連する本を読みあさったりして営業ノウハウを学び、「期日までに絶対に売る」という強い意思で朝から晩まで猛然と働いた。

その後、フォード販売店に転職し、21歳でジャガー正規ディーラーの店長に抜擢される。休みなしで働き、一人で年間120台を売り上げた。なぜ、それほど売れたのか。

「商品の売り込みではなく、お客さまを知ろうとする努力から始めました。そしてお客さまとの信頼関係を築くことに注力し、『じゃあ、お前から買うよ』と言っていただける営業を目指したのです」。

2004年、26歳のとき起業のチャンスが訪れる。ジャガーのディーラーを経営する会社が破たんし、そのエリアで新規に法人を設立してディーラーをやらないかという話がきたのだ。そこで、ハンユウ株式会社（現ビジョナリー）

を設立して「ジャガー所沢」を開業した。ところが資金調達で苦勞し、展示車なしで回収を先にする自転車操業が続く。鷺尾社長は「誰にでもできることを誰にでもできないくらいやる」をモットーに、情熱と執念で危機を乗り越えた。

その後、シトロエン、ロータス、ランドローバー等のディーラー権を取得。攻めの経営を推し進め、事業を拡大してきた。そして11年、念願だったアウディのディーラー権を取得してビジョナリングを設立した。小平市の新青梅街道沿いに「アウディ西東京」を開業。その後、「同立川」、「同日野バイパス」（旧アウディ八王子）と多摩地域に次々出店。23年10月には八王子市堀之内に「アウディ八王子」をオープンした。ここは全国初のカーボンニュートラル店舗。屋根の上に設置した太陽光パネルで発電してショールームの照明や工場の動力を賄い、余った電気を蓄電池に溜め、150kWhの急速充電を可能にしている。

新たな自動車ビジネス創出へ

自動車産業に流通革命を起こすには事業をさらに拡大する必要がある。鷺尾社長は新たな自動車ビジネスの創出に向けて自動車の共同使用マーケットの開拓や再建型M&Aなどを推し進める。そのため、欠かせないのが若手人材の育成だ。社内外の研修に加え、社員には経営に関する全ての情報を開示し、経営者志向の人財育成に力を入れている。

「壮大なビジョンを実現するには、正にこれからの正念場だ。」



店舗運営を支えるカスタマーアテンダントたち

多摩ニュータウン通り沿いにオープンした「アウディ八王子」。「Q4 e-tronを一度ご試乗ください。EVに対する考え方が変わる事と思います」と鷺尾社長は話します

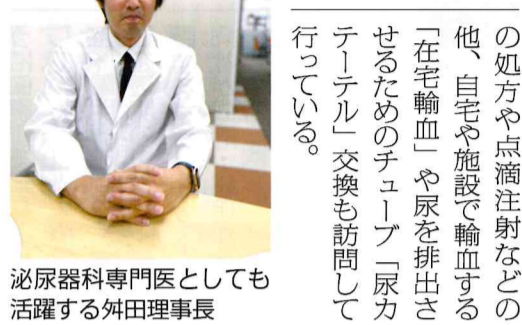
国分寺市企業特集

国分寺市の企業を紹介いたします。

24時間365日対応の在宅診療支援 泌尿器科の外来診療所を立川に開設予定

エフエムティ

エフエムティ（国分寺市、外田一樹理事長、042・3201・359・4197）は在宅療養支援診療所「さつきクリニック」を運営している。定期的に医師が訪問診療し、容態が悪化した場合は24時間365日対応する。



泌尿器科専門医としても活躍する外田理事長

「病院でできることを在宅でもできるだけ実施していく」方針で、薬

の状態観察からリハビリ・介護相談まで、看護師と連携を強めることでより総合的な支援ができるようになった。



「さつきクリニック」を支える医師・スタッフたち

「専門的、総合的な知識と人材を持ち、より安全に患者に寄り添った医療を行う。大病院などの大きな病院ではなくとも、クリニックや在宅医療でできることを増やしていく。それが地域貢献にもつながる」と外田理事長は語る。

2世帯住宅のリフォーム実績多数 設備交換から構造躯体変更まで幅広く対応

アイホーム

アイホーム（国分寺市、人見毅社長、042・3201・3201）は多摩エリアを中心とした地域密着のリフォーム会社。1990年に設立し、30年以上の実績がある。

内装、左官、大工等の職人を抱え、風呂やトイレ等の設備交換はもちろん、構造躯体から変更できるのが強みだ。「木造軸組工法」や「2x4工法」等の建物には、工法に合わせて

た技術を駆使して大規模リフォームを実現する。ハウスメーカーが独自技術で造る「クローズド工法」にはリフォームできない物件も含まれ、知見が必要だ。81年に「建築基準法」が大幅に改正され、建物自体の耐震性が高まると、リフォームも注目されるようになった。

「新築が主流だった90年代からリフォームに特化してきた。蓄積したノウハウをお客さまに還元したい」

「ハウスメーカーのクレーム対応で『ほんの些細なことが重大な事態を引き起こす』というのを学びました。家の構造、防水、断熱の知識をしっかりと理解した上で、住む人が満足する『住まい方』を提案していきたい」と人見社長は話す。



間仕切りをガラス戸に変えて広々とした空間にリフォーム



リフォーム一筋に30年以上の実績を持つ人見社長

「2週間に1回輸血が必要な血液疾患者からは病院への頻回の通院や長時間待つ必要がなくなり、家族の負担も減ってうれしい」と好評だ。また、在宅輸血に関する対応もできるクリニックが少なく限られているため、病院からの問い合わせや依頼も増えている。

2023年9月には「さつき訪問看護ステーション」を開設した。日常生活

は、23年5月現在、全国で270人程しかいない排泄機能専門医の資格をもつ外田理事長の得意とするところだ。

「不要なパソコンを無料で回収・廃棄 地域密着で片付けニーズに迅速対応」



バス通り沿いにある本社。水色のロゴマークが目立つ。

「専門的、総合的な知識と人材を持ち、より安全に患者に寄り添った医療を行う。大病院などの大きな病院ではなくとも、クリニックや在宅医療でできることを増やしていく。それが地域貢献にもつながる」と外田理事長は語る。

「不要なパソコンを無料で回収・廃棄 地域密着で片付けニーズに迅速対応」

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に